

「ぶんせき」電子掲示板

「ぶんせき」のホームページ

日本分析化学会のホームページはもうご覧いただけましたでしょうか。現在,このページで提供して行く情報内容について,各委員会などで検討しておりますので,順次拡充して行くものと思います。

さて、前号では日本インターネット協会編による「インターネット白書」96」の内容の一部をご紹介しましたが、現在たいへんな数のホストがあります。さらに検索ページで確認したところでは、なんと6000万近くのURLがあるようです。もうたいへんな混みようで、特に日本国内のサイトはひどくで時間によっては全く実用性がない状態です。最近では、パソコン通信サービスでもインターネット接続サービスを開始したためでしょうが、深夜のある時間帯はほとんどアクセスできない状況になっています。早急に回線の状況が改善されることは望み薄ですので、当面この状態が続くのでしょうか。この渋滞はなんとか早く解決してほしいものです。既に、ホームページを国外に置くところが急増しています。この分野も空洞化が進むとしたら大変です。

また、現在の多くのサイトでは情報は一方通行ですから、「化学の広場」のような双方向通信はほとんど実現されていません。現在の第9会議室は、大方質問とそれへの対応ですから、こうした情報やディスカッションを求めている方は、当面パソコン通信のほうが利用価値が高いでしょう。会議室の機能を電子メールで代用することも不可能ではありませんが、やはり使い勝手は会議室のほうがよいと思われます。会議室(フォーラム)に参加している大多数のいわゆるROMにとっては、断然会議室でしょう。かく言う私もそうですが。

もちろん電子メールを使った会議のメリットもありますから,少人数やある目的を絞ったものは電子メール会議で,不特定多数相手や大人数のフォーラムなどでは会議室スタイルという形になって行くのでしょう。既に,ホームページで会議室を実現しているところもありますし,イントラネットでは会議室が必須ですから専用のアプリケーションも市販され始めたようですので,今後の展開が期待されます。

「化学の広場」 : 本号で紹介する発言範囲

発言番号:2699~2764 期間:96/6/01~96/6/30

(Q&A)

分析値の精度管理 < 関連発言番号 > (2688), 2699, 2704 よい原子吸光光度計をご存じですか < 関連発言番号 > (2678), 2700, 2701, 2702, 2705, 2708, 2711, 2715

水関係の新聞の情報を探しています < 関連発言番号 > 2703, 2706, 2709, 2710

機器分析について教えて〈関連発言番号〉(2690), 2712 XPSフィラメントの寿命〈関連発言番号〉2713 水素分析〈関連発言番号〉2716

原子吸光D2ランプ法BG補正 < 関連発言番号 > 2717, 2720, 2721, 2756

Dr.Konrad Grobの著書 < 関連発言番号 > (2284), 2719, 2730, 2734 医薬品における代謝物のGC/MS分析 < 関連発言番号 > 2722, 2724, 2726, 2727, 2728, 2729, 2733, 2735, 2738, 2749 改正大気汚染防止法 < 関連発言番号 > 2723, 2732, 2739 光学純度の決定法 < 関連発言番号 > 2725

NO2の溶解度 < 関連発言番号 > 2737, 2741, 2742

RS232Cについて<関連発言番号>2740

有機酸の分析方法 < 関連発言番号 > 2743, 2745, 2746, 2747, 2755, 2757, 2759

GCのカラムについて < 関連発言番号 > 2748, 2750, 2751 セミミクロカラム/ECD < 関連発言番号 > 2752 大気中の殺虫剤類の測定 < 関連発言番号 > 2753, 2760 土壌環境基準の試料保存 < 関連発言番号 > (2689), 2758, 2761 アセニトが分析できるGC充填剤 < 関連発言番号 > 2764

[タイトルサービス]

「ぶんせき」,「水情報」

< 関連発言番号 > 2718, 2744

[その他]

1996年5月のアクティブリスト,日本分析化学会のホームページ,固相抽出の脱水

<関連発言番号>2707, 2714, 2762, 2763

日本分析化学会のホームページ

本号では、「ぶんせき」誌関連のページを紹介します。前号の機関誌のページで「ぶんせき」誌の表紙あるいは「ぶんせき」をクリックしますと、次ページ下図の左上のページにジャンプします。ここで、「ぶんせき」誌の欄の紹介をクリックしますと、左下のページにジャンプします。ここでは、現在掲載しています各欄の紹介をしておりますが、それぞれの欄の名前をクリックします

(ここでは入門講座を選択してみました)とさらに右下のように各欄の1985~1994年の10年間に掲載されたタイトルが表示されます。入門講座などのシリーズ物はテーマごとに,解説や進歩総説などは年度毎になっていますので,シリーズ名や年をクリックするとさらにその先頭項目までジャンプします。

一方,目次を選択しますと下図の右上のページにジャン

プします。ここで,各号数を選択しますと目次が表示されます。なお,この目次から"「ぶんせき」電子掲示板"のページにリンクしています。また,本欄で紹介したサイトにはリンクが張ってあり,即座に飛んで行けますので,ご利用をお勧めします。なお,各ページのスタイルや内容は適宜改訂されております。

〔「ぶんせき」編集委員会〕



